

目指す学校像 ◆ 自立と社会参加を目指し、児童生徒一人一人の能力や特性に応じた教育を行い、生きる力を育成する。 ○ 生き生きと学び、成長できる学校【元気で ⇒ 自立】 ○ 互いを認め合い、尊重できる学校【なかよく ⇒ 尊重】 ○ 地域から信頼される開かれた学校【たくましく ⇒ 貢献】 ○ 自信と誇りをもてる学校			
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
昨年度は、「資質・能力を伸ばす学習の充実」を重点項目として、チャレンジ事業を活用して「生活科」「理科」の適切な目標の設定と評価サイクルに基づいた授業実践を行い、授業改善に取り組んだ。「個別最適な学びの充実・協働的な学びの充実」のため、単元構想（授業設計図）による授業デザイン、実践、評価、改善のサイクルに基づいた授業実践を行っていった。 「個に応じたキャリア教育・進路指導の充実」については、企業や福祉関係機関と連携し、体験的な学習の時期や方法（オンラインの活用等）の工夫による指導の充実を図るだけでなく、小・中・高保護者に対しても積極的な情報発信を行った。早期から系統的で段階的な取り組みや情報発信、連携構築など持続可能な取り組みを行っていった。 「心づくりの充実」については、普段の生活や様々な指導場面において、自己肯定感の育成及び向上を図ってきた。様々な学習や体験を通じて、自己肯定感を高め、他者を認めることのできる心作りや相談しやすい環境づくり（ICTを利用した相談受付等）を行っていった。 「地域とともにある学校づくり」について、交流及び共同学習、外部専門家を活用した授業づくりなどの実践とHP等を使った情報発信を行ってきた。コミュニティスクールを活用した新たな地域との関係づくりや適切で的確な情報発信、適正就学に向けた情報提供や連携強化を図っていった。 「センター的役割の充実」については、担当職員の専門性の向上を図りつつ、巡回相談等、地域のセンター的役割を担った。「特別支援教育地域連携体制構築事業」「特別支援教育推進体制充実事業」など相互的な関係を構築し、相談・支援活動の迅速且つ効果的な役割の充実を図る。 「健康で安全・安心な体制整備」については、ヒヤリハット事例の共有や各訓練実施内容等の工夫しながら実践した。また「けがのないじょうぶな体づくり」の取り組み等、運動する機会を設け、健康・体力の維持向上を図ってきた。職員一人一人の危機意識と気づきの醸成を図り、安全・安心な学校体制の徹底を図っていった。また、「口の健康」のため、保健学習、関係機関との連携、ヒヤリハットの共有による安全安心な学校環境整備等による健康・体力の維持増進を図る。	個別最適な学び・協働的な学びの充実	① 知的特別支援学校における「楽しさ」に気付き、「興味・関心」を引き出す「算数・数学科」の授業づくり ② 単元構想（授業設計図）による授業デザイン、実践、評価、改善へ ③ 外部専門家と連携した自立活動の充実 ④ 授業づくりを支える「チャレンジUP」の推進	
	社会に開かれた教育課程	⑤ 系統性を踏まえた計画的・段階的なキャリア教育及、進路指導の充実 ⑥ 企業や関係機関等への積極的な情報発信、連携強化 ⑦ SDGs の取組	
	豊かな心づくりの充実	⑧ 道徳教育の実践、あいさつの励行、いじめの早期発見と対応 ⑨ 自己肯定感と自己有用感の向上、互いを認め合える心の育成	
	社会と連携した教育活動 ー地域で輝く児童生徒の育成ー	⑩ コミュニティスクールでの課題共有と地域資源を活用した教育活動 ⑪ 学校間交流、地域交流、居住地校交流等の推進	
	専門性を活かしたセンター的機能の工夫と充実	⑫ 「地域連携体制構築事業」「特別支援教育推進体制充実事業」による通学区域内市町村との課題共有、改善と充実 ⑬ 校内外における相談・支援の一層の充実と関係諸機関との連携	
	安全・安心な学校体制の強化・徹底	⑭ 安全・安心、清潔な教育環境の整備 ⑮ ヒヤリハット事例、改善策の共有 ⑯ 安全な食事指導、食物アレルギーへの対応、食育指導の推進 ⑰ 緊急時に対応できる実効性のある訓練等の実施と地域と連携した危機管理体制の充実 ⑱ 安全な通学の確保に向けたバス会社や保護者との連携	
	健康・体力の維持増進	⑲ ケガをしない丈夫な体づくり、体力づくり、保健学習の推進 ⑳ 医療的配慮・医療的ケアを要する児童生徒への学校生活支援と学習支援の充実	
	信頼される学校づくりと働き方改革の推進	㉑ 服務規律の確保とコンプライアンス意識の向上 ㉒ 一人一人のWell-beingを目指した働き方改革	